

北海道横断自動車道（べっほ別保～おほろ尾幌）

第2回 地域意見聴取 記者発表資料

令和6年12月25日

国土交通省 北海道開発局

令和6年8月2日
釧路開発建設部

北海道横断自動車道根室線（別保～尾幌間）の 計画について地域の意見聴取（第2回）を実施します

～皆さまの御意見をお聞かせください～

釧路開発建設部では、北海道横断自動車道根室線（別保～尾幌間）の計画について、地域の皆様や道路を利用される方からの御意見を道路計画に反映するため、アンケート及びヒアリング調査を行いますので、御協力をお願いします。

＜地域の意見聴取概要＞

別保～尾幌間のルート検討に当たり、重視すべき点や配慮すべき点についてのご意見をお伺いします。

（1）アンケート調査

調査票：釧路町、標茶町、厚岸町、浜中町及び根室市の各自治体にお住まいの各世帯に調査票を配布いたします。

また、根室市役所、各役場、道の駅（厚岸グルメパーク、スワン44ねむろ、おだいとう）及び根室市北方領土資料館に調査票を備付けます。

回答方法：①インターネットによる回答（釧路開発建設部ホームページからアクセスできます）

・URL http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/douro_keikaku/c86hsb000000cwt.html

②調査票（返信はがき）による回答

・最寄りの郵便ポストへ

・根室市役所、各役場、道の駅（厚岸グルメパーク、スワン44ねむろ、おだいとう）及び根室市北方領土資料館に設置の回収ボックスへ



実施期間：①インターネットによる調査

令和6年8月2日（金）から令和6年9月27日（金）まで

②調査票の配布及び備付けによる調査

令和6年8月30日（金）から令和6年9月27日（金）まで

（2）ヒアリング調査

関係自治体や関係団体、事業者の皆様インタビュー形式のヒアリングを実施します。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 道路計画課

道路計画課長 平 記好 電話：0154-24-7259（ダイヤルイン）

道路調査官 藤岡 康憲 電話：0154-24-7263（ダイヤルイン）

釧路開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



アンケート配布地域及び回収ボックス設置箇所

設置場所

市役所・役場等

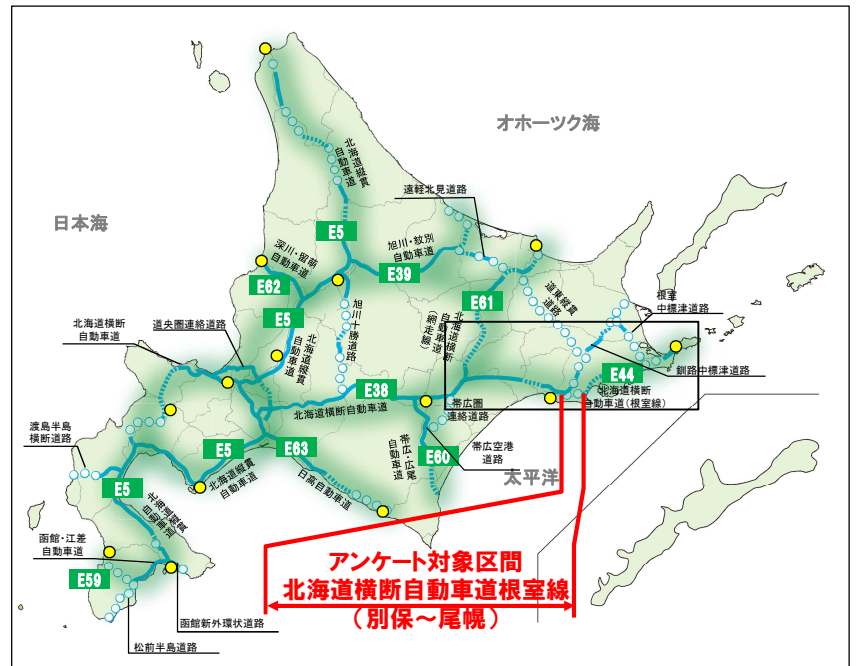
釧路町役場、標茶町役場、厚岸町役場、浜中町役場、根室市役所、別海町役場、根室市北方領土資料館

道の駅

厚岸グルメパーク、スワン44ねむろ、おだいとう

凡 例	
開 通 区 間	
事業中区間	
調査中区間	
総合振興局 振興局	

凡例		
アンケート	配布地域	市・町
回収ボックス 設置箇所	市役所・役場等	
	道の駅	



アンケート対象区間 北海道横断自動車道根室線(別保～尾幌)



北海道横断自動車道 根室線（別保～尾幌間）における 道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道根室線は、黒松内町を起点として札幌市、帯広市、釧路市等を經由して、根室市に至る道路です。

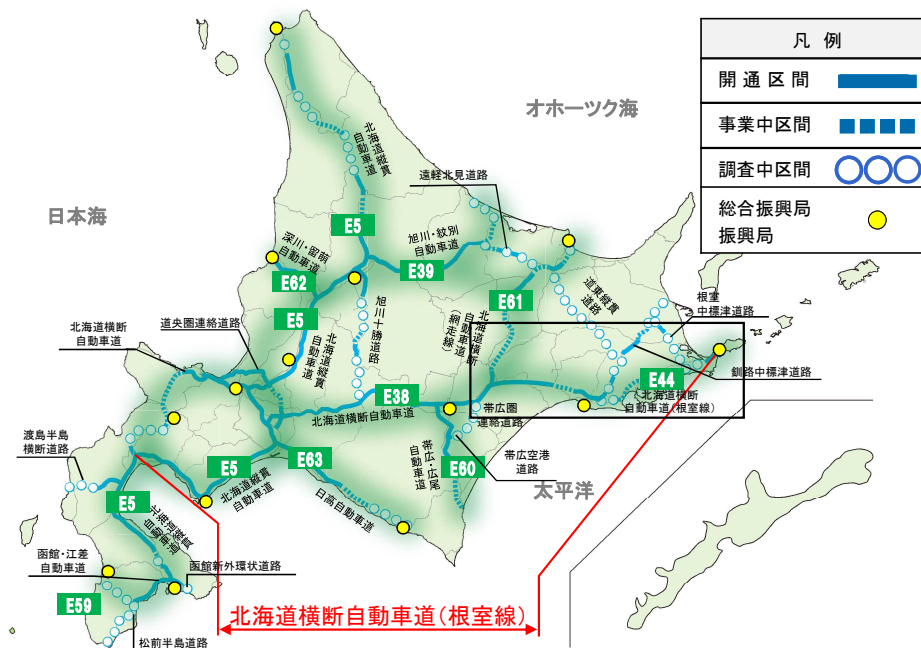
釧根圏と道央圏・十勝圏等の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び、物流の効率化等の支援を主な目的として整備を進めています。

本アンケートは、このうちの釧路町別保～厚岸町尾幌間の道路計画にあたり、計画づくりの初期段階から地域の皆様へ情報提供を行うとともに、広くご意見をお聞きし、それを計画に反映していくための取り組みとして実施するものです。

令和5年6月から令和5年8月にかけて実施しました第1回意見聴取では、地域の皆様が日頃感じている地域の課題や、必要な道路機能についてご意見を頂きました。ご協力ありがとうございました。

今回の第2回意見聴取では、ルート検討にあたり重視すべき点や配慮すべき点についてお聞きしますので、本アンケートにご協力いただきますよう、宜しくお願いいたします。

■このアンケートでは、別保～尾幌間のことについてお伺いします。

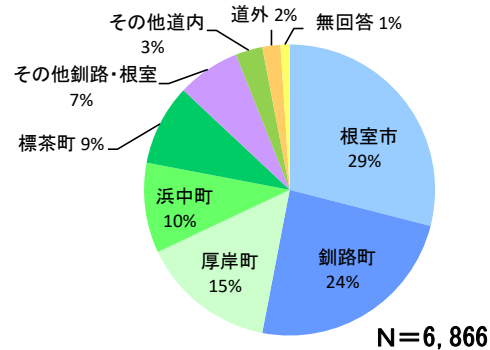


第1回意見聴取の結果

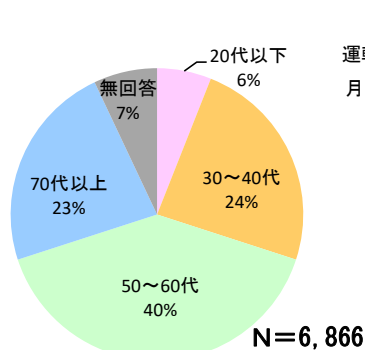
アンケートには、地域の住民や道路を利用される方などから6,866件の回答をいただきました。

回答者の居住地、年齢、運転頻度、国道44号別保～尾幌間の利用頻度、利用目的

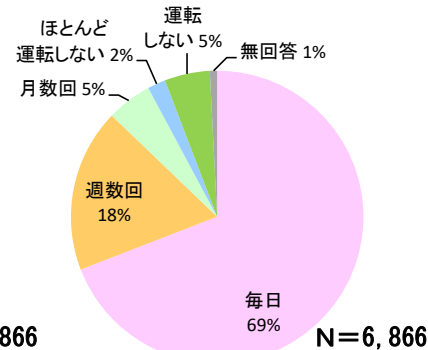
▼居住地



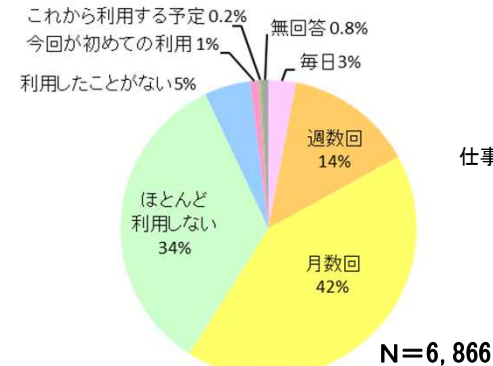
▼年齢



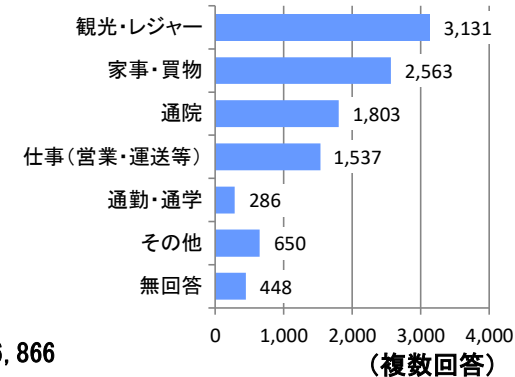
▼自動車の運転頻度



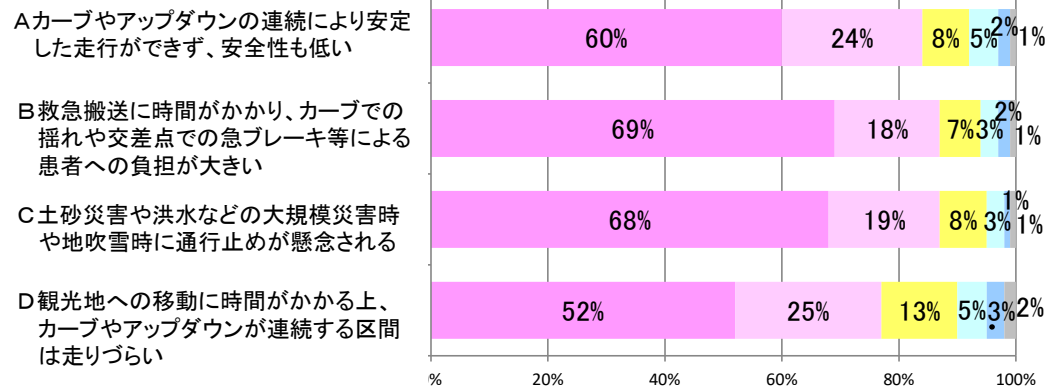
▼別保～尾幌間の利用頻度



▼別保～尾幌間の利用目的

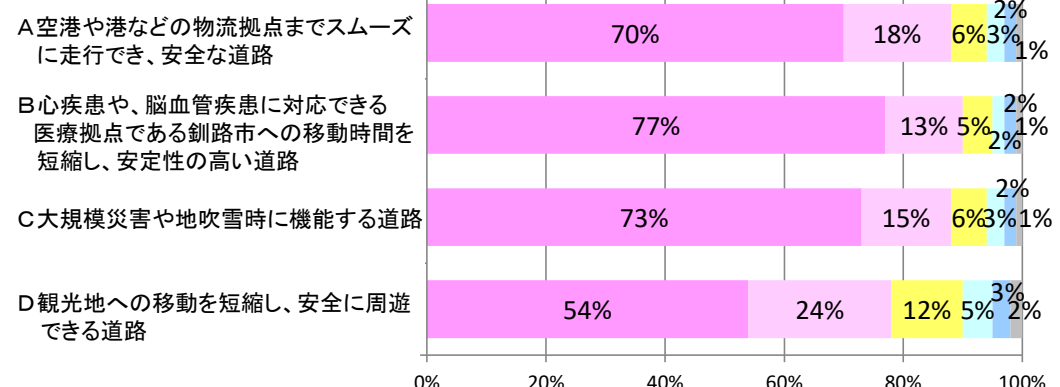


将来を見据えた地域の課題



- ・将来を見据えた地域の課題は、すべての項目で概ね高い賛同意見をいただきました。
- ・中でも「救急搬送に時間がかかり、カーブでの揺れや交差点での急ブレーキ等による患者への負担が大きい」、「土砂災害や洪水などの大規模災害時や地吹雪時に通行止めが懸念される」について課題であるとの回答を多くいただきました。

別保～尾幌間に必要な道路機能

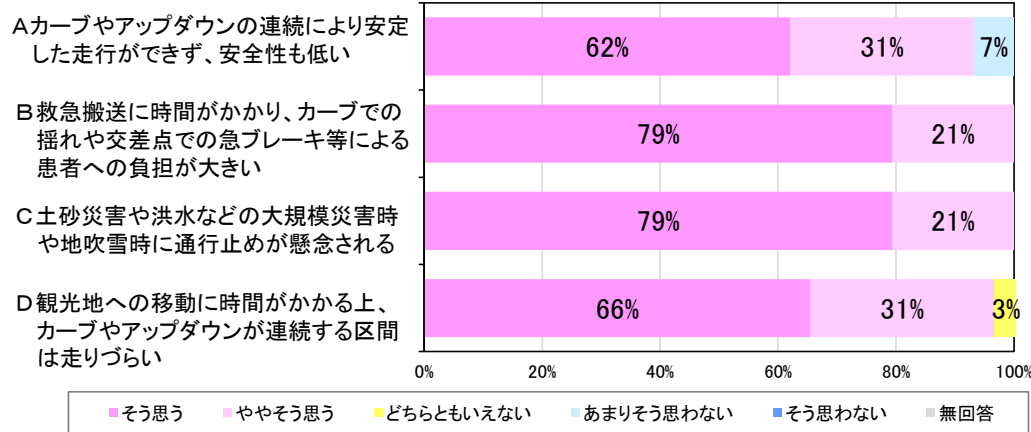


- ・別保～尾幌間に必要な道路機能は、すべての項目で概ね高い賛同意見をいただきました。
- ・特に「心疾患や、脳血管疾患に対応できる医療拠点である釧路市への移動時間を短縮し、安定性の高い道路」が必要であるとの回答を多くいただきました。

第1回意見聴取の結果

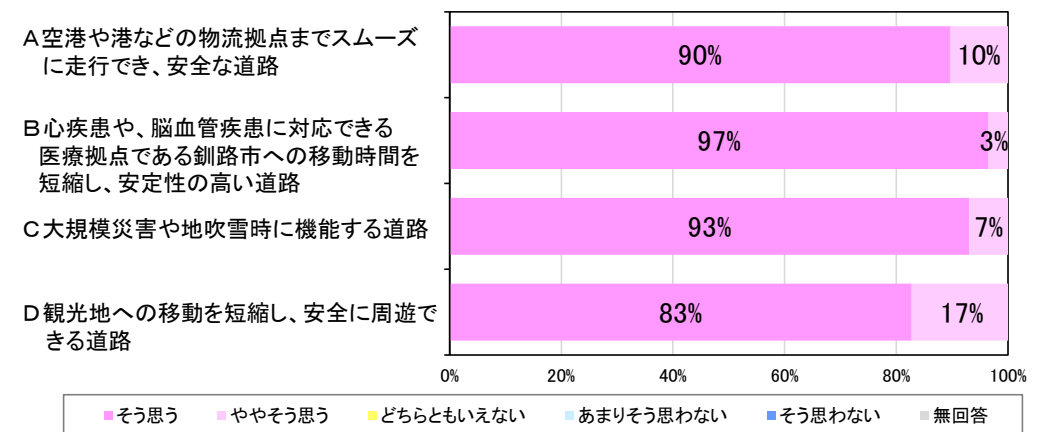
ヒアリング調査では、沿線自治体や各団体から29件の回答をいただきました。

将来を見据えた地域の課題



総回答数N=29

別保～尾幌間に必要な道路機能



総回答数N=29

- ・将来を見据えた地域の課題は、すべての項目で高い賛同意見をいただきました。
- ・特に「救急搬送に時間がかかり、カーブでの揺れや交差点での急ブレーキ等による患者への負担が大きい」、「土砂災害や洪水などの大規模災害時や地吹雪時に通行止めが懸念される」について課題であるとの回答を多くいただきました。

- ・別保～尾幌間に必要な道路機能は、すべての項目が必要であると回答をいただきました。

第1回アンケート調査・ヒアリング調査のまとめ

- 多くの道路関係者や各団体の皆様が地域の課題に対して道路整備の必要性を感じています。
- 特に、速達性や安定性・安全性、災害時における道路の機能確保に対して多く回答をいただきました。

頂いた意見を踏まえ政策目標を設定しました

別保～尾幌間に必要とされる政策目標

地域の農水産業を支える輸送経路の速達性・安定性・安全性の向上

地域の暮らしを支える高次医療施設への速達性・安定性の向上

災害発生時の避難・復旧活動を支える道路の機能確保

観光促進に向けた観光ルートにおける周遊性の向上

課題解決のための対策案

- 第1回地域意見聴取で地域の課題、別保～尾幌間に必要な道路機能について確認したことから、政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を踏まえ、以下のような3つの対策案を設定。

政策目標

地域の農水産業を支える
輸送経路の速達性・安全
性の向上

地域の暮らしを支える
高次医療施設への速
達性・安定性の向上

災害発生時の避難・復
旧活動を支える道路の
機能確保

観光促進に向けた観光
ルートにおける周遊性の
向上

政策目標 達成に必要な 機能

- ・空港・港湾等の物流拠点
への輸送時間短縮
- ・市街地を回避し、安全・
円滑に輸送出来る道路
- ・事故危険区間や貨物車
の事故多発箇所を解消
し、安全・円滑に輸送出
来る道路

- ・高次医療施設のある
釧路市への速達性の
高い道路
- ・救急搬送の安定性向上
による患者の負担軽減

- ・大規模災害や洪水、
吹雪時の道路機能の
確保
- ・地域の基幹道路の
代替路確保

- ・観光地や空港への
アクセス性の高い道路

配慮すべき ポイント

・地域への影響 ・環境への影響 ・工事中の影響 ・経済性

3つの対策案と 整備イメージ

別線南側ルート

自然環境配慮範囲や洪水浸水想定範囲
等の課題箇所を平面及び縦断で回避し
つつ、別保から尾幌間を南側で連絡する
最短ルート



別線北側ルート

自然環境配慮範囲や洪水浸水想定範囲
等の課題箇所を平面及び縦断で回避し
つつ、別保から尾幌間を北側で連絡する
別線整備ルート



別線南側・一部現道改良ルート

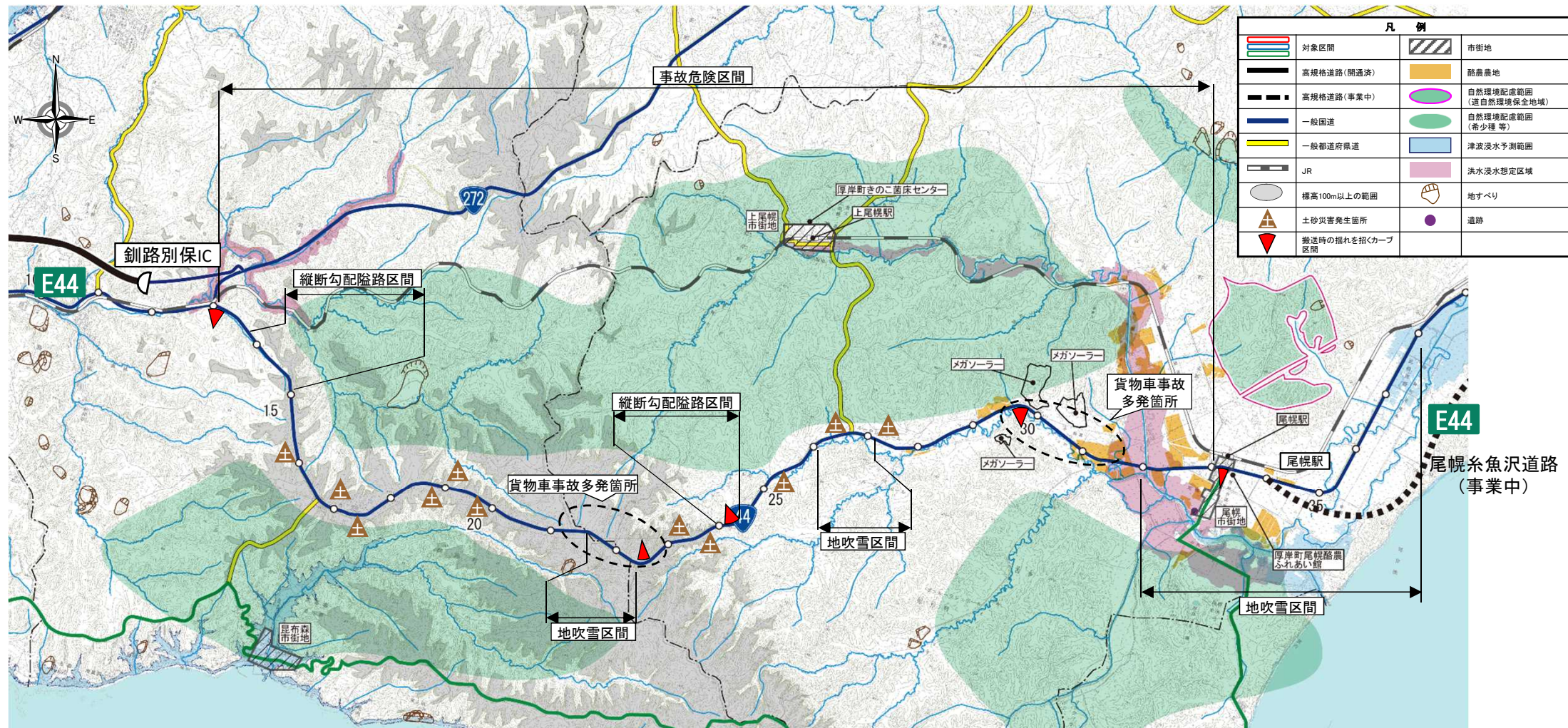
自然環境配慮範囲や洪水浸水想定範囲等
の課題箇所を平面及び縦断で回避しつつ、
一部、現道の縦断勾配隘路区間などの課
題箇所の局所的な改良を行い、別保から
尾幌間を南側で連絡するルート



- 凡 例
- : 市街地・集落
 - : 現道
 - : 別線整備
 - : 現道改良
 - : 高規格道路 (開通済)
 - : 高規格道路 (事業中)

対策案のコントロールポイント

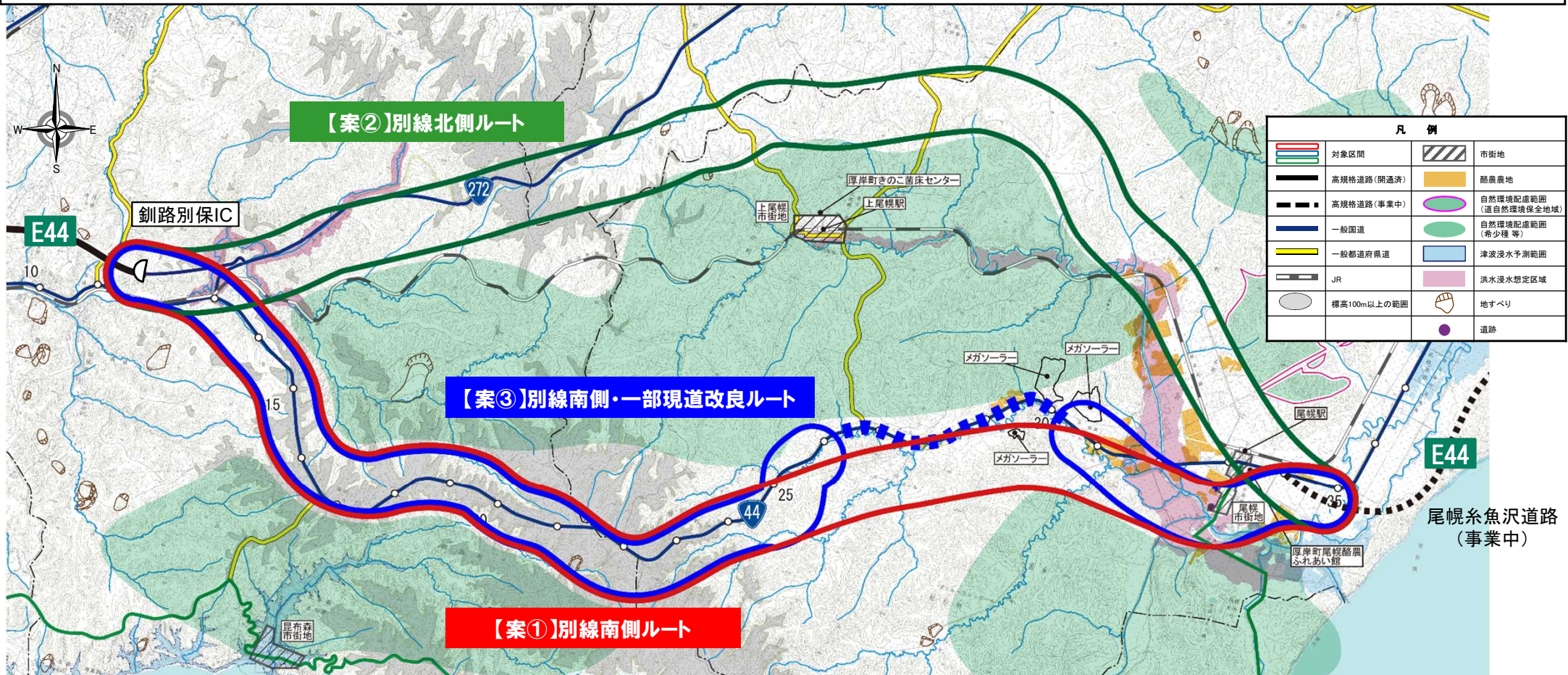
- 各対策案検討のコントロールポイントとしては、市街地、公共施設等、自然環境(道自然環境保全地域、希少種等)、基幹産業である酪農農地、津波浸水・洪水浸水想定区域等の影響を極力回避。



回避すべき施設等 (社会的状況による要因)	- 市街地 - 公共施設等 (JR尾幌駅、産業施設、メガソーラー発電所等) - 自然環境 (道自然環境保全地域など環境に配慮が必要な範囲) - 遺跡
配慮すべき事項 (自然環境)	- 酪農農地 - 津波浸水想定区域、洪水浸水想定区域、地すべり箇所

対策案の比較

○ コントロールポイントを踏まえ、政策目標達成に必要な機能から3つの対策案を設定。



案① 別線南側ルート

(自然環境配慮範囲や洪水浸水想定範囲等の課題箇所を平面及び縦断で回避しつつ、別保から尾幌間を南側で連絡する最短ルート)

- 全線別線で自動車専用道路を整備するため、サービス速度は確保しやすい
- 大規模災害時の代替性は確保される
- 事業費は対策案の中で中位

案② 別線北側ルート

(自然環境配慮範囲や洪水浸水想定範囲等の課題箇所を平面及び縦断で回避しつつ、別保から尾幌間を北側で連絡する別線整備ルート)

- 全線別線で自動車専用道路を整備するため、サービス速度は確保しやすいが、案①と比較し延長が長く時間短縮効果は劣る
- 大規模災害時の代替性は確保される
- 事業費は対策案の中で高価

案③ 別線南側・一部現道改良ルート

(自然環境配慮範囲や洪水浸水想定範囲等の課題箇所を平面及び縦断で回避しつつ、一部、現道の縦断勾配隘路区間などの課題箇所の局所的な改良を行い、別保から尾幌間を南側で連絡するルート)

- 一部区間が現道改良となるため、他案に比べサービス速度は劣る。また、一部代替性が確保できない
- 一部現道の課題箇所を局所的に改良するため、事業費は対策案の中で安価

案① 別線南側ルート

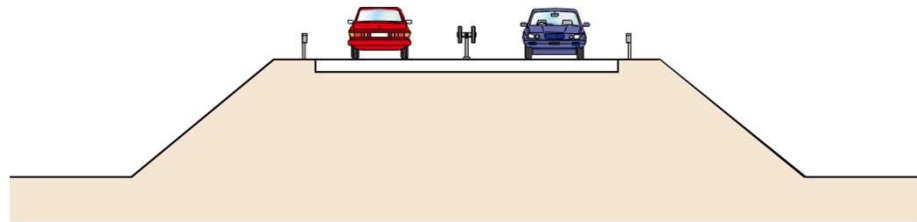
案② 別線北側ルート

全線別線で設計速度※：80km/h

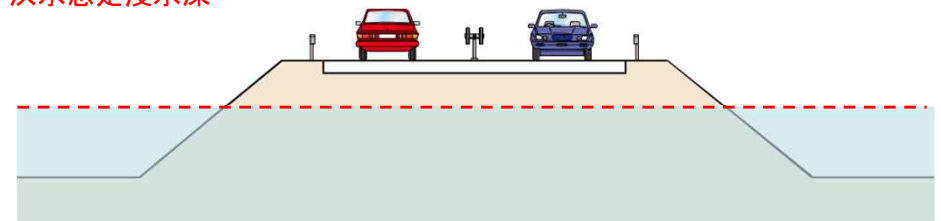
○ 整備方法 【別線整備】

別保～尾幌の全区間に自動車専用道路を整備します

※案③の別線区間も同様の整備となります

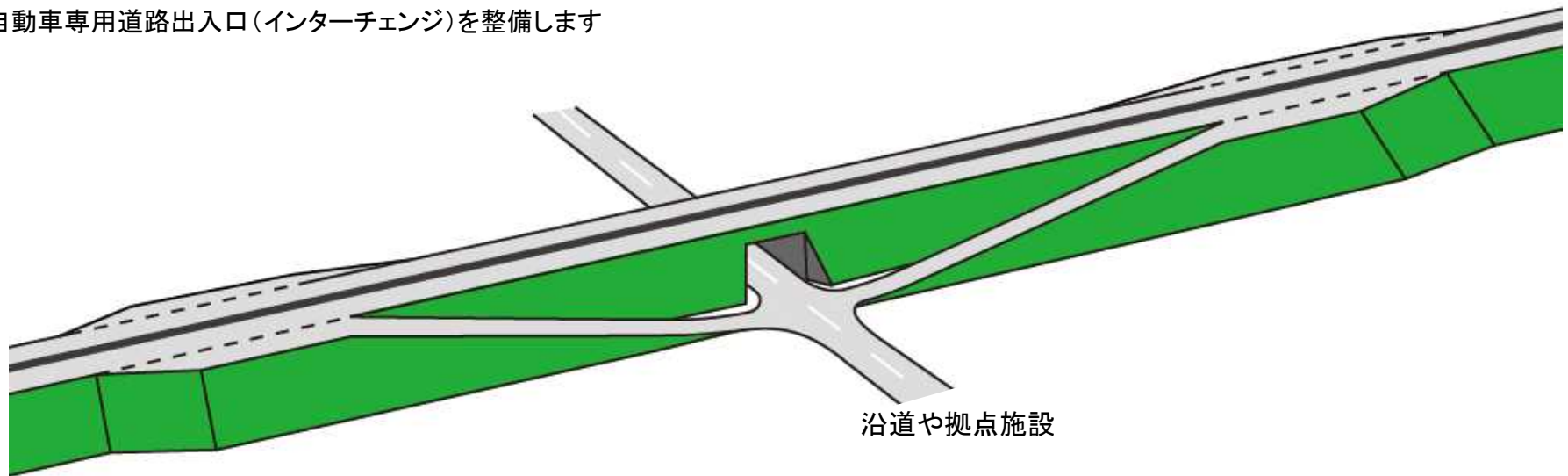


洪水想定浸水深



○ 沿道や拠点施設へのアクセス方法

アクセス箇所に自動車専用道路出入口（インターチェンジ）を整備します



※設計速度は、安全・快適に走行できる速度であり、実際の交通規制の速度は設計速度と異なる場合があります

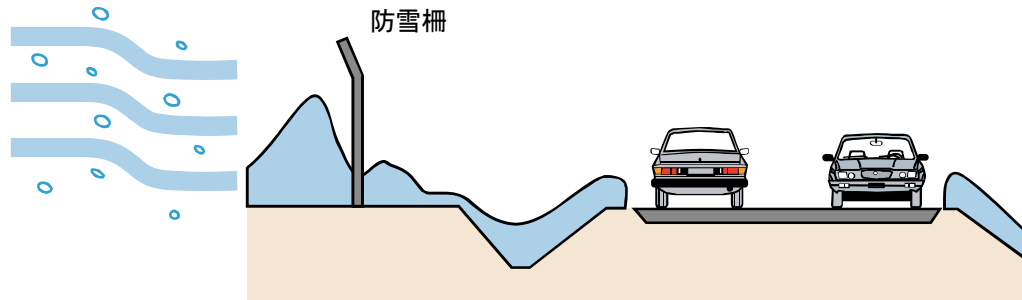
案③ 別線南側・一部現道改良ルート

別線区間は設計速度※:80km/h、現道改良区間は設計速度※ 60km/h

○整備方法

【地吹雪発生区間の対策】

地吹雪が発生しやすい区間は地吹雪を防止する防雪柵を整備します



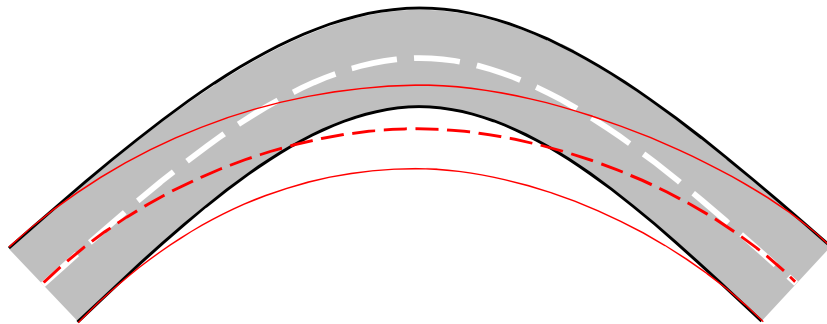
【事故危険区間の対策】

正面衝突事故等の多い区間は中央分離帯を整備します



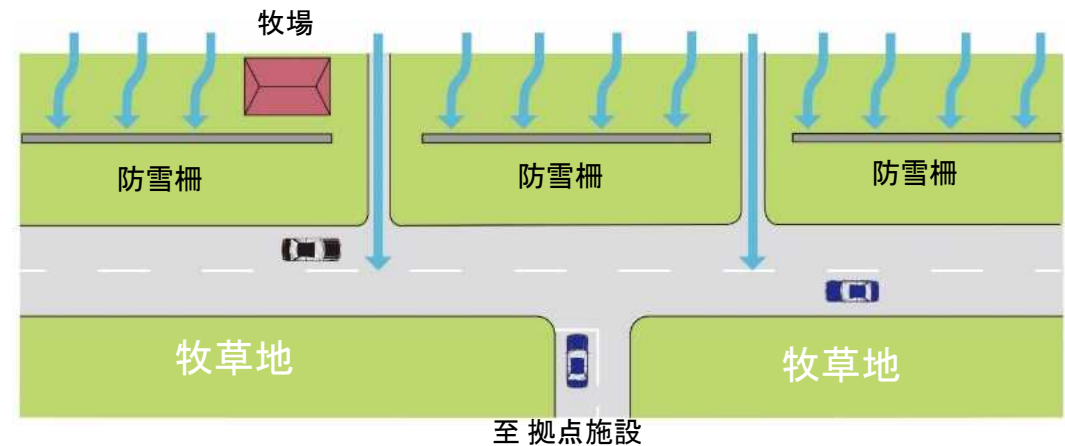
【カーブ連続区間の対策】

搬送時の揺れを招くカーブ区間を解消する道路を整備します



○沿道や拠点施設へのアクセス方法

沿道の出入は自由にできますが、交差点等は出入確保のため対策ができない場合があります



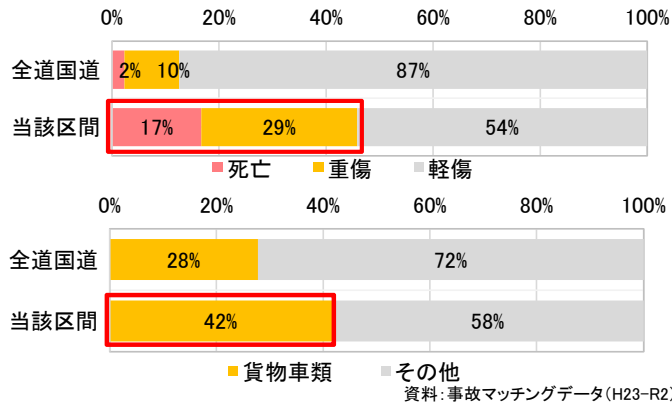
※設計速度は、安全・快適に走行できる速度であり、実際の交通規制の速度は設計速度と異なる場合があります

別保～尾幌間の道路課題

■国道44号 別保～尾幌間の道路課題は、以下のように考えられます。

生活・物流交通の状況

■死亡・重傷・軽傷事故の割合と貨物車事故の割合



■農水産業の盛んな地域のため、物流交通が多く、貨物車による事故が半数を占め、死亡・重傷事故が多発しています。

速達性・走行性の状況

■別保～尾幌間の道路線形不良箇所の状況



■別保～尾幌間はアップダウンやカーブが連続するため加減速が生じやすく、救命率向上のために救急搬送時の走行性・速達性の向上が必要です。

災害時の状況

■大雨による盛土崩壊発生状況



■別保～尾幌間は山地部であり、盛土崩壊など通行止めのおそれがある箇所が複数存在し、大規模地震時に交通の寸断が懸念されます。



対策案の比較表

			【案①】別線南側ルート	【案②】別線北側ルート	【案③】別線南側・一部現道改良ルート
対策案の考え方			自然環境配慮範囲や洪水浸水想定範囲等の課題箇所を平面及び縦断で回避しつつ、別保から尾幌間を南側で連絡する最短ルート	自然環境配慮範囲や洪水浸水想定範囲等の課題箇所を平面及び縦断で回避しつつ、別保から尾幌間を北側で連絡する別線整備ルート	自然環境配慮範囲や洪水浸水想定範囲等の課題箇所を平面及び縦断で回避しつつ、一部、現道の縦断勾配隘路区間などの課題箇所の局所的な改良を行い、別保から尾幌間を南側で連絡するルート
整備イメージ					
区間延長			約21km(自動車専用道路)	約22km(自動車専用道路)	約23km(自動車専用道路＋現道改良)
政策目標	地域の農水産業を支える輸送経路の速達性・安全性の向上	輸送時の速達性	・根室市から釧路空港への輸送時間短縮効果が比較的大きい（整備前127分→整備後120分、7分短縮）	・根室市から釧路空港への輸送時間短縮効果が比較的大きい（整備前127分→整備後121分、6分短縮）	・根室市から釧路空港への輸送時間短縮が他案に比べ劣る（整備前127分→整備後123分、4分短縮）
		輸送時の安定性	・市街地や縦断勾配隘路区間の回避（市街地 現況：1箇所→整備後：0箇所） （縦断勾配隘路区間 2区間→整備後：0箇所）	・市街地や縦断勾配隘路区間の回避（市街地 現況：1箇所→整備後：0箇所） （縦断勾配隘路区間 2区間→整備後：0箇所）	・別線整備と現道の局所改良で、市街地や縦断勾配隘路区間を解消（市街地 現況：1箇所→整備後：0箇所） （縦断勾配隘路区間 2区間→整備後：0箇所）
		輸送時の安全性	・事故危険区間や貨物車事故が多発する箇所の回避（事故危険区間 現況：1区間→整備後：0区間） （貨物車事故多発箇所 現況：2箇所→整備後：0箇所）	・事故危険区間や貨物車事故が多発する箇所の回避（事故危険区間 現況：1区間→整備後：0区間） （貨物車事故多発箇所 現況：2箇所→整備後：0箇所）	・別線整備と現道の局所改良で、事故危険区間や貨物車事故が多発する箇所の解消（事故危険区間 現況：1区間→整備後：0区間） （貨物車事故多発箇所 現況：2箇所→整備後：0箇所）
	地域の暮らしを支える高次医療施設への速達性・安定性の向上	高次医療施設への速達性向上	・市立根室病院から釧路市の高次医療施設（釧路市立病院）までの搬送時間短縮効果が比較的大きい（現況114分→107分 7分短縮）	・市立根室病院から釧路市の高次医療施設（釧路市立病院）までの搬送時間短縮効果が比較的大きい（現況114分→108分 6分短縮）	・現道を部分的に活用するため、市立根室病院から釧路市の高次医療施設（釧路市立病院）までの搬送時間短縮効果が他案に比べて劣る（現況114分→110分 4分短縮）
		救急搬送の安定性向上	・搬送時の揺れを招くカーブ区間や市街地を回避（カーブ区間 現況：5箇所→整備後：0箇所） （市街地 現況：1箇所→整備後：0箇所）	・搬送時の揺れを招くカーブ区間や市街地を回避（カーブ区間 現況：5箇所→整備後：0箇所） （市街地 現況：1箇所→整備後：0箇所）	・別線整備と現道の局所改良で、搬送時の揺れを招くカーブ区間や市街地を解消（カーブ区間現況：5箇所→整備後：0箇所） （市街地 現況：1箇所→整備後：0箇所）
	災害発生時の避難・復旧活動を支える道路の機能確保	災害時の道路機能の確保	・土砂災害発生箇所、洪水浸水区間、地吹雪区間の回避。（土砂災害発生箇所 現況11箇所→0箇所） （洪水浸水区域 現況0.9km→0m） （地吹雪 現況3区間→0区間）	・土砂災害発生箇所、洪水浸水区間、地吹雪区間の回避。（土砂災害発生箇所 現況11箇所→0箇所） （洪水浸水区域 現況0.9km→0m） （地吹雪 現況3区間→0区間）	・別線整備と現道の局所改良で、土砂災害発生箇所、洪水浸水区間、地吹雪区間の解消をするが、交差点では防雪対策出来ない。（土砂災害発生箇所 現況11箇所→0箇所） （洪水浸水区域 現況0.9km→0m） （地吹雪 現況3区間→1区間）
		災害時の代替性の確保	・全線別線整備することで代替路の確保が可能	・全線別線整備することで代替路の確保が可能	・現道を部分的に活用するため、一部代替路が確保できない
	観光促進に向けた観光ルートにおける周遊性の向上	釧路空港への速達性向上	・釧路空港から根室市への移動時間短縮効果が比較的大きい。（根室市→釧路空港 現況127分→120分 7分短縮）	・釧路空港から根室市への移動時間短縮効果が比較的大きい。（根室市→釧路空港 現況127分→121分 6分短縮）	・現道を部分的に活用するため、釧路空港から根室市間の時間短縮効果が他案に比べて劣る。（根室市→釧路空港 現況127分→123分 4分短縮）
配慮すべき事項	地域への影響	家屋等土地利用への影響	・現道沿いの一部の家屋や農地に影響が生じるが、地形に沿った線形にすることで、影響範囲を小さくすることが可能	・現道沿いの一部の家屋や農地に影響が生じるが、地形に沿った線形にすることで、影響範囲を小さくすることが可能	・現道沿いの一部の家屋や農地に影響が生じるが、一部現道を活用するため、対策案の中では最も影響が小さい
	環境への影響	自然環境への影響	・現道に近接しており、自然環境への影響を抑制することが可能	・山地部を通過するが、地形に沿った線形とし地形改変面積を抑制することが可能	・現道に近接し、現道を部分的に活用するため、地形改変面積を抑制することが可能
	工事中的影響	工事中的現道交通への影響	・現道沿いであるが、別線整備となるため工事中的の現道交通への影響は、比較的小さい	・別線整備となるため工事中的の現道交通への影響は、比較的小さい	・現道改良区間では、工事中的の現道交通への影響が大きい
	経済性	経済性・概算事業費	・事業費は対策案の中で中位 約1,100～1,300億円	・案①に比べ延長が長く、事業費は対策案の中で高価 約1,150～1,350億円	・一部現道を改良するため、事業費は対策案の中で安価 約1,000～1,200億円

※上記の時間短縮等の数値については、概略延長に対して設計速度を用いて試算した値であり、今後の詳細なルート・構造検討や接続位置等により変更となる場合があります。

北海道横断自動車道 根室線（別保～尾幌間）に関するアンケート

■質問内容・解答欄

回答は返信用はがきに記入し、令和6年9月27日までに郵便ポストに投函してください。

問1 対策案（ルート帯案）の検討にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか？

次のA～Fの項目それぞれについて、「特に重視すべき」～「重視する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。
また、各項目の中で特に優先すべき項目一つに✓をつけてください。

項 目	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらとも いえない	あまり重視する 必要はない	重視する 必要はない	優先項目
A 釧路・根室地域から釧路空港や釧路港等の物流拠点への輸送時間短縮	1	2	3	4	5	
B 釧路・根室地域から釧路市の高次医療施設への救急搬送時間短縮	1	2	3	4	5	
C 釧路・根室地域の観光拠点と釧路空港等の交通拠点との移動時間短縮	1	2	3	4	5	
D 急カーブやアップダウンが連続する区間や事故危険区間の解消	1	2	3	4	5	
E 土砂災害発生箇所、洪水浸水区間、地吹雪区間の解消	1	2	3	4	5	
F 災害発生時の避難・復旧を支える代替路の確保	1	2	3	4	5	

回答は返信はがきに記入願います
※インターネットでも回答出来ます

問2 対策案（ルート帯案）の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？

次のA～Dの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。
また、各項目の中で特に優先すべき項目一つに✓をつけてください。

項 目	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらとも いえない	あまり配慮する 必要はない	配慮する 必要はない	優先項目
A 家屋や土地利用など地域への影響が小さいこと	1	2	3	4	5	
B 自然環境への影響が小さいこと	1	2	3	4	5	
C 工事中の交通規制による一般交通への影響が小さいこと	1	2	3	4	5	
D 建設に要する費用が安いこと	1	2	3	4	5	

回答は返信はがきに記入願います
※インターネットでも回答出来ます

問3 インターチェンジとのアクセスを検討するにあたって、どのようなことに配慮すべきと思いますか？

次のA～Cの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。
また、各項目の中で特に優先すべき項目一つに✓をつけてください。

項 目	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらとも いえない	あまり配慮する 必要はない	配慮する 必要はない	優先項目
A 市街地から円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5	
B 防災拠点へ円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5	
C 医療拠点へ円滑にアクセスできること	1	2	3	4	5	

回答は返信はがきに記入願います
※インターネットでも回答出来ます

問4 その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

回答は返信はがきに記入願います

アンケートの回答方法、実施期間

- ・回答は同封の郵便はがきにご記入ください。
- ・回答用の郵便はがきは、切手を貼らずに最寄りの郵便ポストへ投函して下さい。
なお投函は、令和6年9月27日（金）までをお願いします。
- ・インターネットによる回答も実施可能になっておりますので、下記アドレスからアクセス願います。
※はがきでは、ご家族2名まで回答可能となっておりますので、可能であれば2名回答頂きますよう御協力お願い致します。ご家族の中で、ご回答者様の他にお車を運転される方がいらっしゃる場合は、インターネットにてご回答いただけますと幸いです。
北海道横断自動車道根室線（別保～尾幌間）道路計画に関する意見聴取
Web回答用ページ URL: http://www.hkd.ml.it.go.jp/ks/douro_keikaku/c86hsb000000cwtx.html
※釧路開発建設部ホームページからもアクセス可能です。



アンケートの記入例

郵便はがき

料金受取人払

●●郵便局 承認 000

差出有効期間 令和●年●月●日まで (切手不要)

北海道横断自動車道根室線（別保～尾幌間）道路計画に関する意見聴取係 行



（はがきでは、ご家族2名まで回答可能となっておりますので、可能であれば2名回答頂きますよう御協力お願い致します。2名で回答頂く場合は、表中の①②行にそれぞれ回答を記載ください。）

■あなた自身のことについて（記入または該当する番号に○）

住所 〒000-0000 北海道 市(郡) 厚岸 町(村)

性別と年齢 ① (男性) 女性 (年齢: 50 歳代)
② (男性) 女性 (年齢: 40 歳代)

■自動車を運転する頻度を教えてください（該当する番号1つに○）

1. 毎日 2. 週数回 3. 月数回 ① (1) 2, 3, 4, 5
4. ほとんど運転しない 5. 運転しない ② (1) 2, 3, 4, 5

■国道44号別保～尾幌間の利用頻度を教えてください（該当する1つに○）

1. 毎日 2. 週数回 3. 月数回 ① (1) 2, 3, 4, 5
4. あまり利用しない 5. 利用したことがない ② (1) 2, 3, 4, 5

■国道44号別保～尾幌間の主な利用目的を教えてください（該当する全てに○）

1. 通勤・通学 2. 通院 3. 家事・買い物 ① (1) 2, 3, 4, 5
4. 仕事(営業、運送等) 5. 観光・レジャー 6 ()
6. その他 ② (1, 2) 3 4, 5
※6. その他の場合は、括弧内に内容を記載ください

北海道横断自動車道根室線（別保～尾幌間）第2回アンケート 回答欄

2名で回答頂ける場合は、表中の①②行にそれぞれ回答を記載ください。
質問1～質問3のA～F、A～Dの項目について、該当するもの1つに○をつけて下さい。また、各質問の各項目の中で特に優先するべきもの1つに✓をつけてください。

質問1. 対策案(ルート帯案)の検討で重視すべき項目

	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない	優先項目
A. 空港や港等の物流拠点への輸送時間短縮	① (1) 2 3 4 5	② (2) 3 4 5				○
B. 釧路市の高次医療施設への救済時間短縮	① (1) 2 3 4 5	② (2) 3 4 5				○
C. 観光拠点と交通拠点との移動時間短縮	① (1) 2 3 4 5	② (2) 3 4 5				
D. 急カーブやアップダウン、事故危険区間の解消	① (1) 2 3 4 5	② (2) 3 4 5				
E. 土砂災害、洪水、地吹雪の危険区間の解消	① (1) 2 3 4 5	② (2) 3 4 5				
F. 災害発生時の避難・救助を支える代替施設の確保	① (1) 2 3 4 5	② (2) 3 4 5				

質問2. 対策案(ルート帯案)の検討で配慮すべき項目

	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない	優先項目
A. 家屋や施設、土地利用などへの影響が小さいこと	① (1) 2 3 4 5	② (2) 3 4 5				○
B. 自然環境への影響が小さいこと	① (1) 2 3 4 5	② (2) 3 4 5				○
C. 工事中の交通規制による影響が小さいこと	① (1) 2 3 4 5	② (2) 3 4 5				
D. 建設に要する費用が安いこと	① (1) 2 3 4 5	② (2) 3 4 5				

質問3. インターチェンジとのアクセスを検討する上で配慮すべき項目

	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない	優先項目
A. 市街地から円滑にアクセスできること	① (1) 2 3 4 5	② (2) 3 4 5				○
B. 防災拠点に円滑にアクセスできること	① (1) 2 3 4 5	② (2) 3 4 5				○
C. 医療拠点に円滑にアクセスできること	① (1) 2 3 4 5	② (2) 3 4 5				

質問4. その他のご意見

配慮事項や今後の道路整備へのご意見・ご要望がありましたらお書き下さい

①..... ※記載者が分かるようにするため、文章前に回答者の番号を記載頂くようお願い致します。
②.....

■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。

これは、道路の整備方針を地域の声（地域の皆様、道路利用者、関係団体等）を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。

計画段階評価の流れ

北海道地方小委員会

第1回 (R4.12.23)

地域の皆さま、関係機関企業等への意見聴取 (第1回アンケート)

R5.6.29 ~ R5.8.20

北海道地方小委員会

第2回 (R5.11.16)

地域の皆さま、関係機関企業等への意見聴取 (第2回アンケート)

現在はこの段階です

北海道地方小委員会

対応方針の決定

アンケートについてのお問い合わせ先

<調査主体>

北海道開発局 釧路開発建設部 道路計画課

北海道横断自動車道根室線（別保～尾幌間）道路計画に関する意見聴取係

〒085-8551 釧路市幸町10丁目3番地
電話0154-24-7268

安全で快適な地域づくりのために
みなさまのご意見をお待ちしております。



国土交通省



本調査は、釧路根室地域の道路計画について地域にお住まいの皆さまや道路利用者のご意見を広くお聞きすることを目的とするものです。そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。
（法令により開示を求められた場合を除きます）